シミズを
支え続ける
「論語と算盤」。

いまでこそ経済活動においてエシカルの概念は
当たり前になっていますが、
明治時代からその概念を唱え、実践していた方がいます。
日本を代表する実業家、渋沢栄一翁です。

渋沢翁と清水建設（当時：清水屋）との縁は古く、
1872年に完成した、二代喜助の設計・施工による第一国立銀行（当時：三井組ハウス）の
出来映えを渋沢翁が高く評価したことに端を発します。

その後、急逝した三代満之助の遺志により、
渋沢翁に相談役就任を依頼。
当社経営姿勢の原点に通じる「論語と算盤」の教えを授かりました。
これは、道理に適った企業活動によって社会に貢献し、
結果として適正な利潤を得て社業を発展させるという考え方です。

二代喜助以来恩顧を受け、三十余年にわたり
直接指導を受けてきた「論語と算盤」の教えは、
当社の社是として受け継がれ、
誠実なものづくりの精神とともに、
いまも従業員一人ひとりが立ち返る原点であり続けています。

（所蔵：東京商工会議所）

子どもたちに誇れるしごとを。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設

清水建設は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。
https://www.shimz.co.jp/company/csr/sdgs/